

写真のエステ

Aesthetica

五つのエレメント

平成25年度東京都写真美術館コレクション展
Collection Exhibition 2013
The Aesthetics of Photography—Five Elements

- 光** luminous
- 反映** reflection
- 表層** surface
- 喪失感** sense of loss
- 参照** reference

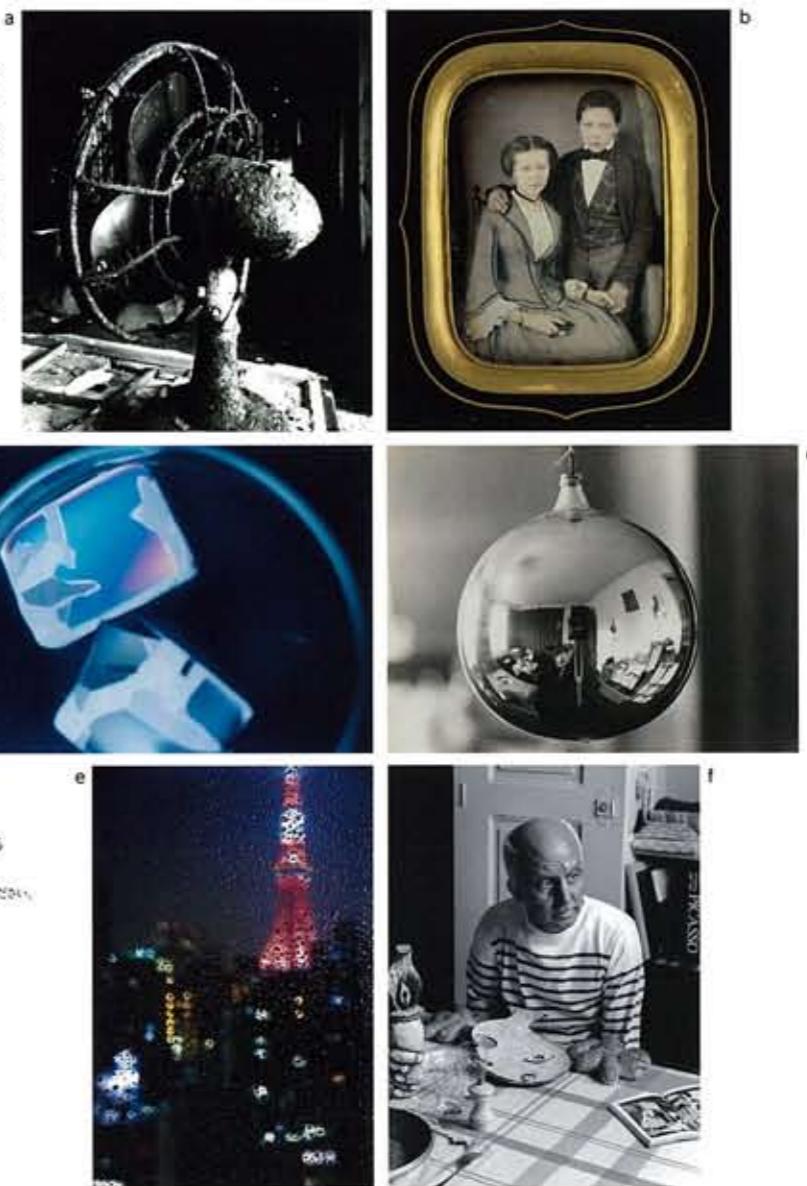
写真のエステ

Aesthetica



平成25年度東京都写真美術館コレクション展
Collection Exhibition 2013
The Aesthetics of Photography—Five Elements

a 雜賀雄二《軍艦島一葉でされた島の風景》1984-86年 ゼラチン・シルバー・プリント b撮影者不詳《女性と少年像》19世紀 ダゲレオタイプ c川内倫子《イリヤイセンス》より 2009年 発色現像方式印画 d山脇巖《球体に反射する室内》1932年 ゼラチン・シルバー・プリント e島山直哉《スローグラス/東京 097》2001年 発色現像方式印画 f森村泰昌《なにものかのレクリエム(創造の劇場)》2010年 ゼラチン・シルバー・プリント
半表面写真:佐藤時吉(Breath-graph #155 YUBARI) 1992年 ゼラチン・シルバー・プリント



【担当芸員によるプロアレクチャー】
会期中の第2・第4金曜日、16時より担当芸員による
展示解説を行います。
※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、3階展示室前にお集まりください。

【展覧会カタログ】
「写真のエステ」予価1,800円(税別)
東京都写真美術館ミュージアムショップにて5月発売。
3期にわたるコレクション展共通カタログです。

【展覧会告知】
「写真のエステー写真作品の作り方」(仮称)
2013年7月13日(土)~9月16日(月・祝)
「写真のエステー自然のエレメント」(仮称)
2013年9月21日(土)~11月17日(日)

18世紀ドイツの哲学者バウムガルテンは、「感性学」を意味する「エスティカ」(Aesthetica)という学問を提唱しました。このエスティカは、やがて近代日本に伝来して「美学」と訳されました。現在一般に普及している「エステ」または「エスティック」という和製語は、全身美容術を意味しますが、元々は18世紀西洋で生まれた「感性学」から派生しています。「エステ」はたんに人間の身体を美しく変える術だけではありません。自然界の現象や「私」の外にある様々なものを美しく感じ取る術であり、美しいと感じる「私」の心と感性を育む術でもあります。

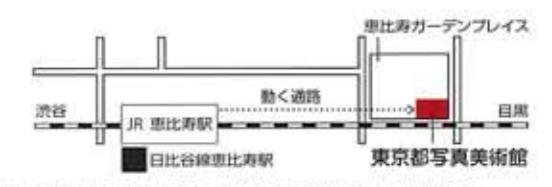
この展覧会では「写真の美しさはどこにある?」をテーマとして、29,000点を超える東京都写真美術館の豊富なコレクションのなかから、企画者である私が感じている写真の美の在り方を選びとり、五つのエレメントに分けて紹介します。「光」「反映」「表層」「喪失感」「参照」というエレメントを手がかりとして、19世紀の初期写真から現代写真まで、当館のコレクション作品をたどりながら、美をめぐる数々の表現に目を向け、そのたたずまいを味わい、趣きを愛でてください。

「写真」は文字通り「真を写す」と言いますが、写真から「眞実」を知ることよりも、「美」の豊かな広がりを感じ取ることが、時には大切なではないでしょうか。「写真のエステ」をとおして、きっと今までと異なる感性のチャンネルが開かれてくることでしょう。企画・構成=石田哲朗(東京都写真美術館/学芸員)

開館時間=午前10時~午後6時(木・金は午後8時まで)※入館は閉館の30分前まで
休館日=毎週月曜日 観覧料=一般500(400)円/学生400(320)円/中高生・65歳以上250(200)円
※()内は20名以上の団体料金。東京都写真美術館友の会会員、小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。第3水曜日は65歳以上無料。

主催=東京都 東京都写真美術館 協賛=凸版印刷株式会社

東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography
[恵比寿ガーデンプレイス内]
3F展示室 www.syabi.com
TEL.03-3280-0099



■JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。
■当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。